

新卒者 42 名 (男性 27 名、女性 15 名) が入社

アキュラホーム 2009 年度入社式社長訓示

株式会社アキュラホーム(東京都新宿区 社長:宮沢俊哉)は4月1日、新宿住友ビル本社にて2009年度入社式を行いました。今年度は総合職42名(男性27名、女性15名)の新規学卒者が入社しました。



宮沢社長入社式訓示(要旨)

本日は、ご入社おめでとうございます。まずは、心からお祝い申し上げます。若い、バイタリティーにあふれたみなさんを迎えるにあたりまして、私も大変楽しみにしていました。

今後、日本の人口が減少していくなか、世帯数は2015年をピークに減少していくと予測されており、住宅業界の市場規模はどんどん縮小していきます。また、「100年に一度」といわれる大不況の中、一人ひとりの価値観も多様化しています。日本のビジネスの世界においても、既に業界を問わず大手の会社同士の再編が起ってきています。

そのような中、当社は昨年創業30周年を迎え、これまでに試行錯誤、七転八倒して家づくりに関わる様々なことに取り組んできました。ものづくりの本質、企業の本質、組織の本質を考えてきた結果、やはり「ひと」が大事だと思います。

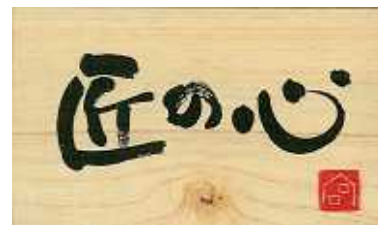
そこで皆さんには「一人ひとりが【本物】になる」ということを仕事をしていく上での心構えとしていただきたいと思います。強い思いを持ち、その実現に向かって積極果敢に挑戦する人になら、失敗しても、それは価値のあることです。そして偶然を必然に変える能力を身に付けてください。何かにトライして、うまくいったときには「なぜうまくいったのか」を考える。失敗したら「なぜ失敗したのか」と考えることが重要です。一人ひとりが思いを持って、考え挑戦し必然を作れる人になって下さい。

また、私は技術系の人だけではなく、営業も管理部門も含め、住宅に携わる全ての人が“匠”であると考えています。“匠の心”を持って、当社のミッションである「日本の住まいを安くする」の実現のため、適正価格で本物の家作りを一緒に目指していただきたいと思います。

皆さんはこれから、人や仕事を通じて自分を伸ばしていく機会に数限りなく出会うはずです。そんなとき、自分の限界に挑戦していかないかぎり、人間としての成長はありません。新しいことに挑戦すれば、傷を負うこともあるかもしれませんが、どうかそれを恐れず、挑戦し続けてください。

皆さんが、このアキュラホームというフィールドで自分を磨き、『本物』になり、皆さん自身の夢を実現してくれることを期待しております。

最後に宮沢自ら「鉋(かな)がけ」を披露して作り手の思い、匠の心を伝えました。新入社員たちは宮沢から鉋がけの指導を受け、緊張した表情を和らげる場面もありました。また「匠の心」を持った家作りに取り組んでいることの象徴として、アキュラホーム発祥の地である埼玉県産の西川材の檜から宮沢自らが鉋で削り出し、手作りした「匠の心」のカードが配られ、新入社員一人ひとりの胸に掲げられました。このカードは3月1日当社25期進発式において、全従業員(724名)に配られました。



<本件についての報道関係からのお問い合わせ先>

株式会社 アキュラホーム 広報課 堀越、長谷川

TEL : 090-5753-6631 FAX : 03-5909-5560

Email : horikosi@aqura.co.jp Email : satsuko.hasegawa@aqura.co.jp

写真データは右記よりダウンロードすることができます。 <http://www.aqura.co.jp/news.html>